

## 2021年度 第3回広報委員会 議事録

日 時 2021年9月14日(火) 13:30～17:00  
 会 場 WEB会議  
 出席者 12名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
沖縄	野原 早織	東京	○ 大和 親英	高知	都築 弘典
北海道	姫野 芳安	愛知	橘 恭浩	鹿児島	○ 田中 拓
神奈川	酒井 錦吾	奈良	辰巳 嘉敏		

<担当副会長> 山口 史朗

<事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)

<オブザーブ> 新日本保険新聞社 今井社長、ユーティワイ企画 神山氏、毎栄 小松氏

:委員長、 :副委員長

### <委員会での決定事項>

- ・2021年度のPR企画の動画確認を数回行うが、戻すまでの時間が短いので direct の確認をまめに行い意見があれば返信する。
- ・今後、チーム内で討議した内容を実行に移していくよう定期的にミーティングを行う。
- ・2022年「みなさまの保険情報」の各ページのテーマが確定した。

## 議 事

### ・挨拶

#### 1. 委員長挨拶

- ・コロナの新規感染は落ち着きそうだが、先日ワクチンの2回目接種も済んで副反応もさほどなく、元気に本日を迎えることができた。
- ・下期になってしまったが、委員長としてのこれまでの気付きを挨拶に代えさせていただきたい。
- ・委員長として1年半が経過するが、私自身5人姉弟の長女として生まれたために自分で何でもやらなければならないと気が済まない性格に育ってしまい、委員会運営においても皆さんに負担がかからないようにという目線が強く、委員の皆さんを信じて一緒に取組む姿勢が足りなかったのではないかと反省している。
- ・特に今年のPR企画は毎栄社が制作していただくことになっており、これまで以上に我々の委員会としての時間が上手く使えるのではないかと考えているので、皆さんの力を借りて広報委員会にいたことを誇りに思えるような動きをしていきたい。これも広報委員として2期目の活動をしている大和さん、田中さん、都築さんに支えていただいたことで、皆さんと直接会えないが、やるべきことに突き進んでいこうという気持ちになった。
- ・気付きが遅かったが、まだまだ取り返せると思うので、色々とチャレンジしていきたいのでお願いしたい。

#### 2. 副委員長指名・司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に田中副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

### ・報告事項・情報共有事項

#### 1. 第4回 理事会報告

事務局より、配布した第4回理事会および第2回全国会長懇談会議案書の内容に沿って説明が行

われ、以下の補足をした。

・審議事項は、2021 年度「功労者表彰」の選定、コンベンション開催修正企画、2021 年度コンサルティングコース受講者募集の代協別目標数、リスクマネジメント講座の開講案の4項目につき審議され承認された。

・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員会委員長より報告があった。

理事会翌日、全国会長懇談会が開催され会員規模による6つのグループに分かれ事業計画推進について討議を行った。

## 2. 2021 年度第1回活力研報告

事務局より、事前に配布した活力研議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

・保険募集現場で代理店が、納得感がないと感じる諸問題への対応策を「代理店から寄せられる保険募集現場の問題点の確認」「コミュニケーションギャップが生じる根本的背景は何か」「課題の自立的解決に向けて、業界と代協がどう連携して取り組むか」の3つのテーマで論議した。

・事務局より、活力研に参加した保険会社部長に、ここだけでの論議に終わらずに社内論議して改善した課題あるいは、違うと判断して対応しなかった課題については情報提供を随時していただき、問題点の整理もできる限り開示して欲しいと要望した。

## 3. 前回委員会の振り返り

前回の広報委員会論議内容、決定事項を議事録で確認した。

### ・審議事項

#### 1. 「みなさまの保険情報」保険の推進

##### (1) 2022 年 1 月号 企画案

・新日本保険新聞社の今井社長より、「みなさまの保険情報」2021 年 1 月号の企画案が提示された。1面の保険業界のテーマについて、以下の3案が提示された。

「2021 年の自然災害の振り返りで防災・減災の意識を高める」 「年金制度改正法が 2022 年 4 月に施行」 「金融(保険)リテラシーを高める意識を持ってもらう」

(主な意見)

・1案について、自然災害関連は過去何回か取り上げてきたが今回改めて掲載する意図は？

(今井社長より)自然災害と言えば梅雨時や台風時期を想像するが敢えて1月に防災の意識を高める意味で提案している。

・来年1月から建築基準法告示改定があり、これまでは一部だけ瓦を釘で留めていけばよかったところを新築住宅については全部の瓦を留める必要が出てくる。これにより風災の保険金支払は大分抑えられることになり、リスクコントロールに繋がるということを損保協会がハードネゴをして国交省が取りまとめたものである。併せて、補助事業もクローズアップされると思うのでこの時期にテーマとして取り上げられていただけたらと思う。また、特定事業者もこれをチャンスとして顧客にアプローチしてくることが予想されるので、先に代理店が情報を伝えておく必要があると思うので是非取り上げていただきたい。

多数決により、提案された3案に追加された1案の中から「建築基準法告示改定について」を取り上げることで決定した。

・2022 年の2面については、執筆者は変えずに「人間心理に基づく交通安全シリーズ」を継続する提案内容が提示され、自転車事故に関する注意喚起のテーマをどこかで入れることで決定した。

- ・2022年3面については、これまで労務管理に焦点を当てていたため視点を改めて、生命保険を臭わせる内容が提示された。

(主な意見)

- ・3面のタイトルを「事業者役に役立つワンポイント講座」にした方が内容的に合っていると思う。

他、意見無くタイトルを変更したうえで提案されたテーマで決定した。

- ・2022年4面については、ペットボトルでシェイプアップ運動の紹介する内容が提示された。

(主な意見)

- ・上半身のトレーニングに集中しているため、下半身にもスポットを当てた内容も取り入れて欲しい。

- ・健康シリーズは多くの方が気にかけて読んでいます。

- ・日本代協のPR動画の宣伝スペースを引き続き取って欲しい。

他、意見無く下半身のトレーニング方法を追加することで決定した。

## (2) 今後の推進

- ・次回お知らせチラシの執筆担当は田中副委員長であることを確認した。

- ・10月号の購入状況と購入率を確認した(5%目標に対し3.8%と前回と変わらず)。

- ・推進方法は後ほどのグループ討議で検討。

## 2. 2020年度PR企画情宣状況報告

株式会社ユーティーワイ企画よりPR企画の情宣状況報告が下記の通りあった。

特設サイト・SNS運用報告(8/1～8/31)

- ・ページビュー198回(内セッション186回)、ユーザー人数160人、平均滞在時間0:10、直帰率83.75%とアクセス自体は前月に比べ微増している。

- ・YouTube視聴は1,291回(総再生時間20.4時間)、導線はYouTube内でのワード検索からが多い傾向であった。

- ・Twitterは期間内ツイート26減(前回は112増、現在1,336フォロワー)となったが、Twitter上で大規模なアカウント審査があった影響だと考えられる(次月以降の影響はない)。また、インプレッション数は12,962回であった(前回から4,000減)。

先月に引き続き、数値上は安定推移を続けており、YouTube上では地震の発生が確認されると地震のツイートが伸び動画再生が増えている。引き続きSNS等での拡散による効果向上を進め、サイトへの流入や動画再生数を伸ばせるよう、拡散を続けていく。

(質問)

- ・YouTubeの視聴年齢層はわかるか。

はっきりとは、わからないが、20代後半から40代半ばがメインになっている。

## 3. 2021年度PR企画打合せ

毎栄 小松氏から動画作成の進捗報告があった。

- ・イラストレーターとの打合せが終了し書き初めている(今月末には人物イラストがアップされ、背景については来月中旬予定)。

- ・軽微な修正であれば修正可能だが、大幅な変更になると期限内の納品ができなくなるので現段階で問題点があれば早めに申し出ていただきたい。
- ・今後は、10月1日に歴史上の人物とアシスト動画のイラスト確認を行い、6日には本番のイラストを固めたい。10月の中旬には、背景のイラスト確認を行い11月3日に動画となったものを確認していただきその間2回の修正期間を設けて12月1日には動画を完成させたい。
- ・ランディングページ(LP)についても同様のスケジュールで12月13日には完成予定である。

(主な意見・質問)

- ・BGMの視聴はできるのか。

試写データ確認の段階でBGMは入れているので違和感あれば意見を出して頂きたい。

- ・歴史上の人物のセリフはそれぞれ違う人が声入れするのか。

声優さんは声分けできるので男性1名、女性1名を予定している。

- ・「みなさまの保険情報」にPR動画の案内を掲載しているが、1月号(12月10日ごろ発刊予定)に間に合うか。

11月中旬までに掲載用データを提供できるようにしたい。

#### 4. 代協の魅力を伝えるツール活用(ブレイクアウトセッション)

(野原委員長より)

- ・皆さんと一緒に目的に向かって進んでいきたいと思い、委員会の中でチーム分けをして課題を推進していくこととした。
- ・Aチームは「代協の魅力を伝えるツールの活用」について主にPR動画の視聴(YouTube)回数を増やすこと、Bチームには「みなさまの保険情報推進」について購入率を5%に上げることを討議して頂きたい。
- ・Aチームは、大和副委員長、酒井委員、辰巳委員、Bチームは田中副委員長、姫野委員、橘委員、都築委員とさせていただき、それぞれチームリーダーを決めていただきたい。

30分のチーム討議を行い各チームから報告することとなった。

(ブレイクアウトセッション)

Aチームの討議内容報告(大和副委員長)

対外的な発信はPR企画で予算を取って行っているのですが、この場で議論するのは会員や未入会の代理店向けに、主にYouTube動画で代協の魅力を伝えていかにフォーカスして意見を出し合った。

(主な意見)

- ・所属代協のHPを整理して、1分程度の短い紹介動画を作成し発信しようと考えている。
- ・日本代協としても会員向けの動画がいくつか作成されているが、それを見てもらいやすくすれば広がるのではないかと。
- ・日本代協から数多くのメールが発信されているが、動画紹介のメールを発信する際はURLを目立つようにしたらどうか。

Bチームの討議内容報告(橘委員)

「みなさまの保険情報」をいかに普及させるかというテーマで、話し合いをした。

(主な意見)

- ・PDF(電子化)の情宣を強めたらどうだろうか。電子化であれば、低コストでHPやメール添付で活用しやすい。
- ・キャンペーンを行い、購入率を高めたらどうだろうか。
- ・スマホやタブレットで見られるような情報提供の仕方やナレーション付きのような耳で聞けるような保険情報誌を配信できないだろうか。
- ・各都道府県では三冠王を中心に取組みを行っているので、三冠王の項目に入れてはどうだろうか。
- ・みなさまの保険情報を作成するのが広報委員会であり、各都道府県の会長・理事が価値や情報提供のメリット、代理店としての在り方をいかに会員に伝えられるかがポイントだと思うので、会長や理事にいかに火を付けられるかが課題である。

(野原委員長より)

- ・代協の魅力を伝えることは各代協の会長や理事の皆さんが中心になると思うし、広報委員会だけでなく全ての委員会活動についてもその活動内容を会長・理事にいかに伝えられるかが重要だと思う。そういった意味でも今回チーム分けしたチームで定期的にミーティングを行い、実行に移していけるように取り組んでいきたい。

## 閉会・その他

### 1. 本日の到達点の確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

### 2. 山口副会長閉会挨拶

- ・本日も熱心に討議頂き感謝申し上げます。PR企画も「みなさまの保険情報」1月号も良いものができそうだと嬉しく思っている。
- ・今年の流れとして、4月に金融庁と都道府県会長との意見交換会が行われ、その流れで金融庁と損保協会との懇談会で金融庁から非常に重要な発言があり、その後、活力研が行われた。目まぐるしく変化の激しい我々の業界の中で、今年は我々と保険会社の関係におけるフェイズが変わりつつあるのではないかと感じている。
- ・今の流れについては是非一度目を通していただき、感じていただきたい。さすがに保険会社も重い腰を上げざるを得ない状況になりつつあり、これまでの活力研は会員の皆さんからの大きな期待に応えられるよう、かつ保険会社には気を使いながら意見交換をしてきたが、今回の活力研では、本音ベースで保険会社に物を言い、結果のフィードバックを求めたことは非常に大きいと思っている。
- ・また、コロナの影響でSNSやZOOMの活用が飛躍的に進んだことを併せて考えた時に、広報委員会の重要性はこれまで以上に増していると感じている。委員長が挨拶の中で「気付き」について触れていたが、この委員長の気付きを重く受け止めていただきたい。広報委員会は人数が少ないので、重く受け止めてやる気になればなるほど一人一人にかかる負担が大きくなるかもしれないが、それだけ重要で有意義な委員会だと感じていただきたい。
- ・本日はお疲れ様でした。

以上

次回開催日 2022年1月19日(水)13:30~17:00